

塩竈市教育大綱、
塩竈市教育振興基本計画について

塩竈市教育大綱、塩竈市教育振興基本計画について

1. 概要

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、塩竈市教育大綱・塩竈市教育振興基本計画の上位計画である第6次長期総合計画策定について、令和2年度中の策定から令和3年度中の策定を目指す方針が示されたことから、今後の本市教育大綱・教育振興基本計画の策定の方向性について報告するものです。

2. 塩竈市教育大綱・塩竈市教育振興基本計画の位置づけ

(1) 塩竈市長期総合計画（第5次）

①行政計画における最上位の計画。

②計画期間：平成23年度～令和2年度（現行）

平成23年度～令和3年度 ※今後の方針

(2) 塩竈市教育大綱 ※

①地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく計画。本市の今後の教育・文化に関する総合的な施策についてその目標や方針を示す。**長期総合計画**に示す教育分野の施策を踏まえて策定。

②計画期間：平成28年度～令和2年度（現行）

(3) 塩竈市教育振興基本計画

①教育基本法に基づく計画。**長期総合計画**に示す教育分野の施策を踏まえて策定。**塩竈市教育大綱**の方向性と整合を図る。

②計画期間：平成28年度～令和2年度（現行）

上位計画

※本市教育大綱・教育振興基本計画は、趣旨・構成を同一体系で策定

3. 今後の計画策定の方向性について

(1) 第2期塩竈市教育大綱、塩竈市教育振興基本計画の策定について

上位計画である次期長期総合計画が令和3年度中に策定する方針であることから、塩竈市教育大綱、塩竈市教育振興基本計画についても、次期長期総合計画と整合性を図るため、令和3年度中の策定を目指す。

(2) 塩竈市教育大綱・塩竈市教育振興基本計画の延長について

現長期総合計画同様、行政の継続性の確保のため、現塩竈市教育大綱・塩竈市教育振興基本計画については、1年間延長する。

なお、後掲5の次期計画策定に向けた検討事項は、新たなデータ（令和元年度データによる点検・評価等）を盛り込みながら、令和4年度からの次期計画に繋げていくため、取り組める施策については、令和3年度の実施計画等に反映していく。

4. 今後の予定

令和2年9月 議会に第5次長期総合計画延長に係る関係議案提出

11月 総合教育会議に塩竈市教育大綱・塩竈市教育振興基本計画延長に係る議案提出

5. 次期計画策定に向けた主な検討事項

(1) 教育に関する事務の点検・評価について

教育に関する事務については、毎年、点検及び評価を行い、その報告書を作成し、議会に提出、公表している。(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条)

※別紙参照。今後、令和元年度の点検評価の反映

(2) 国の教育振興基本計画の参酌

地方公共団体の教育大綱、教育振興基本計画は、国の教育振興基本計画を参酌することとされている。

◆第3期教育振興基本計画(国)：平成30年度～令和4年度

＜2030年以降の社会を展望した教育政策の重点事項＞※2030年はSDGs目標年

ア、「超スマート社会(Society 5.0)」の実現に向けた技術革新が進展するなか「人生100年時代」を豊かに生きていくためには、「人づくり革命」、「生産性革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要

イ、教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育政策の中心に据えて取り組む

(3) 地域の実情に応じた施策

①3つの基本方針(現計画)

ア、塩竈独自の小中一貫教育の推進

イ、学校・家庭・地域の連携

ウ、塩竈ならではの人・歴史・文化・自然の活用

②現計画策定時以降の状況の変化

ア、塩竈市独自の小中一貫教育(H29.4～)

幼保小連携・学力向上プラン(学びの共同体等)・中学校区単位の交流活動

イ、塩竈市公共施設再配置計画策定(H31.3～)

ウ、新型コロナウイルス感染症対応(R1.12～)

エ、GIGAスクール構想の実現(R1.12～) など

③塩竈市教育大綱と塩竈市教育振興基本計画の構成

塩竈市教育大綱と教育振興基本計画は、趣旨・構成を同一体系で策定している。

子どもの夢を育むまちづくり

I.生きる力を育む教育の充実

◎・・・達成（100％）
○・・・おおむね達成（80％～99％）
△・・・達成が十分とはいえない（～79％）
－・・・調査未実施

別紙

施 策		目標値 (平成32年度)	達成状況 (平成30年度時点)	評価	学識経験者の意見 (抜粋)
(1)学力の向上	①授業づくり	全国学力・学習状況調査の平均正答率 全国平均を上回る 【全国学力・学習状況調査】	小学生：55.8% 全国との差△4.7% 中学生：57.0% 全国との差△5.5%	△	●小中一貫教育は、保護者・教職員のアンケートでも肯定的な意見が多く、評価できる。結果には繋がっていないが取組の継続と充実に期待する。 ●2年間の分析のもとに、学力向上につながる授業改善や学びの質的向上を高める工夫に期待したい。
	②学ぶ意欲と姿勢づくり ③家庭における学習環境づくり	1時間以上家庭学習をしている児童生徒の割合 小・中学校80%以上 【全国学力・学習状況調査】	小学生：66.7% 全国との差△0.5% 中学生：58.0% 全国との差△12.6%	△	●家庭での学習環境づくりでは、リーフレットの作成や繰返し説明し、望ましい在り方を意識させていることは評価できる。 ●また、自らの問題として解決策を考える取組みとして「アルカス☆塩釜☆」の継続と発展も期待される。
(2)豊かな心を育む教育の充実	①人を思いやる心を育む教育の推進 ②体験学習やボランティア活動を生かした心の教育 ③塩竈の歴史や文化と触れ合う機会の創出 ④外国語教育や国際理解教育の推進 ⑤震災の支援を受けた地域等との交流	「人の気持ちが分かる人間になりたい」と思う児童生徒の割合 100%に近づける 【全国学力・学習状況調査】	「いじめはいけないことだと思う」 小学生：98.0% 全国との差＋1.2% 中学生：95.2% 全国との差△0.3%	○	●小中学校総合的学習推進事業では、地域に根差した体験学習やボランティア活動を通して、児童生徒の創意・工夫を生かしながら学習活動を展開し、『豊かな心を育む』教育の大きな要となっている。
	⑥「アルカス☆塩釜☆」の取組の推進 ⑦命の大切さを学ぶ教育の推進 ⑧豊かな心を育むための読書活動の推進	「読書が好き」と思う児童生徒の割合 80%以上 【全国学力・学習状況調査】	「1日の読書時間が10分以上」 小学生：69.2% 全国との差＋3.0% 中学生：47.6% 全国との差△5.9%	△	●事業を通じて「地域文化」「環境」「福祉」「産業」「国際理解」等の学習活動に各学校の工夫が見られ、高く評価できる。

(3) 健やかな体の 育成の推進

- ①学校教育活動全体を通じた体力・運動能力推進の取組
- ②健康管理や教育相談の指導体制の確立
- ③基本的生活習慣の確立
- ④安全・安心な学校給食の安定的な提供

小中学生の下記種目が県平均を上回っている種目数
・50m走
・立ち幅跳び
・ソフトボール投げ
県平均を上回る
【児童生徒の体力能力調査】

「朝食を毎日食べる」児童生徒の割合
100%に近づける
【全国学力・学習状況調査】

小学生(男)：0種目
小学生(女)：0種目
中学生(男)：0種目
中学生(女)：2種目

小学生：91.9%
全国との差Δ2.6%
中学生：93.0%
全国との差+1.1%



●児童生徒の体力向上につながる運動習慣の日常化に向けて、市内小学校の情報共有をしながらさらなる体力・運動能力の増進への取組に期待したい。
●運動能力調査の結果を評価点検できる仕組みの確立が必要。そして、その取組の成果を検証して改善に努めてほしい。

●適切な食生活や運動習慣を身につけるため、児童生徒の意識化が望まれる。
●従前の取組に加え、家庭への財政的支援や遊びやスポーツに適した環境の整備など、改善に取組むような施策を期待したい。

(4) 不登校・いじめ 対策の充実

- ①学校・家庭・関係機関が一体となった取組
- ②「中一ギャップ」解消を目指した小中一貫教育の推進

小中学校の不登校児童生徒数の割合
全国平均以下
【塩竈市教育委員会調べ】

小学生：0.43%
(H27年度0.72%)
全国との差+0.27%
中学生：3.48%
(H27年度5.30%)
全国との差+0.17%



※目標値は達成していないが、H28年度に不登校児童生徒数が大きく減少し、以降継続しているため評価を「○」とした。

●ここ2か年不登校児童生徒が大きく減少したことは高く評価できる。特に、担任教諭を核として、児童生徒一人一人の変化を見逃さず、《早期発見・早期対応》に心掛け、学校全体で情報を共有していることは望ましい取組である。また、校内に設置された「学び・適応サポートルーム」「けやき教室」「学びの支援センター（コラソン）」が連携し、最終的には学校復帰・教室復帰を目指していこうとしていることは適切である。

(5) 一人ひとりの ニーズに応じた 特別支援教室の充実

- ①障がいや発達段階に配慮した適切な指導及び支援
- ②支援員の配置による特別支援教育の推進
- ③教育相談体制の整備

特別支援教育支援員の配置状況
各校2名配置
【塩竈市教育委員会調べ】

20人



●児童生徒の実態を的確に把握し、日常の学校生活・学級生活の中で『一人一人が児童生徒に対して、どのような指導を行えば、望ましい成長が図られるのか』等について、通常学級及び特別支援学級での「児童・生徒理解」に立った学習支援や適応指導への積極的な取組が期待される。
●各小中学校に配置される支援員が1名から2名に増員されたことを生かし、一人一人の児童生徒の状況に応じてきめ細かい指導を継続してほしい。

Ⅱ.学習環境の充実

◎・・・達成（100％）
○・・・おおむね達成（80％～99％）
△・・・達成が十分とはいえない（～79％）
－・・・調査未実施

施 策		目標値 (平成32年度)	達成状況 (平成30年度時点)	評価	学識経験者の意見
(1)学校施設の整備・充実	①学校施設の良好な環境の維持	大規模改造事業、長寿命化改良事業を実施(着手含む)した学校の割合 11校中4校 【塩竈市教育委員会調べ】	11校中4校	○	●三中長寿命化工事については、生徒の転倒防止などの安全性を確保し、校舎の内装・外装の整備により、学習環境の改善が図られたことは、望ましいことである。また、インクルーシブ教育に配慮した改修も行われたことは、高く評価できる。
	②給食センター構想の推進	学校からの修繕要望に対する事業実績の割合 90%以上 【塩竈市教育委員会調べ】	71.0%	△	●各小中学校施設等の状況を把握し、緊急性・必要性の高いものから計画的・段階的に修繕・補修工事を行っている。児童生徒の良好な学習環境の維持の視点から大変重要であり、積極的な取り組みが期待される。 ●教育環境の整備が未来の塩竈市を作る考えのもとで充実に努めるよう期待したい。
(2)学校設備の充実	①多様化する学習対応のための設備や備品の充実 ②学校備品の更新による学習環境の充実 ③学校図書館機能充実のための図書整備	(具体的な目標値は無し)	—	—	<情報教育施設整備について> ●授業でICTが活用されるために、教師のICT技術の習得と指導力向上のための研修会やインターネット環境の拡充が期待される。また児童生徒の情報活用能力の習得のために、計画的な指導が望まれる。 ●機器の積極的な整備は評価できるが、重要なのは学びの質が向上するかである。きめ細かい指導や、深い理解につながるような授業にするため、丁寧に事業を進めてほしい。

Ⅲ.地域社会との連携強化

◎・・・達成（100％）
 ○・・・おおむね達成（80％～99％）
 △・・・達成が十分とはいえない（～79％）
 ー・・・調査未実施

施 策

目標値
(平成32年度)

達成状況
(平成30年度時点)

評価

学識経験者の意見

(1) 地域との 協力体制の構築

- ①働くことの大切さを学ぶ機会の充実
- ②社会とかかわる活動の充実
- ③地域人材を活用した学校教育の充実
- ④児童・生徒の安全確保のための地域の支援体制づくり

地域の行事に参加している児童生徒の割合
 小学生：90%以上
 中学生：60%以上

【塩竈市教育委員会調べ】

小学生：63.1%
 全国との差+0.4%
 中学生：47.6%
 全国との差+2.0%



※目標値は達成していないが、全国平均を上回ったため評価を「○」とした。

(2) 学校情報提供の 双方向性の確立

- ①家庭・地域への教育情報の発信
- ②情報交換体制の構築

●中学校区単位の交流の中で、第三の大人との交流として、地域との合同の清掃活動や地域行事への参加などの取組を設定したことは適切である。地域住民と児童生徒との交流について、今後の活動に期待したい。

<家庭・地域への教育情報の発信>
 ●教育フェスティバルでは、市の教育の現状として、幼児から高校生までの活動の様子について、展示やステージ発表を通して、発信していることは、貴重な取組である。今後も市独自の小中一貫教育など学校教育や生涯教育について、広く情報を発信されることを期待する。

豊かな心を培うまちづくり

Ⅳ.生涯学習の推進

◎・・・達成（100％）

○・・・おおむね達成（80％～99％）

△・・・達成が十分とはいえない（～79％）

－・・・調査未実施

施 策		目標値 (平成32年度)	達成状況 (平成30年度時点)	評価	学識経験者の意見
（１）学習機会の 充実	①学習課題に対応した学習機会の充実 ②各年代に対応した学習機会の充実 ③学習活動の成果を発表する機会の提供	市民意向調査による生涯学習活動に対する満足度 80%以上 【市民満足度調査】	—	—	●社会教育振興・生涯学習推進事業は、家庭教育の向上・集団学習の推進のため、町内会や市民団体等との綿密な連携が図られることが期待される。 ●事業実施回数や参加者数だけでなく、それらの活動を通して参加者にどのような学びが提供されたのかを問う必要がある。
	①学習情報の提供と相談体制の充実 ②学習団体・グループの育成と支援・ネットワークづくり ③学習成果を発揮できる仕組みづくり	生涯学習施設の年間利用者数 ※図書館は貸出者数 H28から10%アップ 【塩竈市教育委員会調べ】	エсп：221,727人 前年度比 +7.5% H28年度比 +1.84% 公民館： 55,553人 前年度比 Δ8.1% H28年度比 Δ13.63% 図書館：45,359人 前年度比 +1.4% H28年度比 Δ0.82%	○ ※目標値は達成していないが、前年度に比べ、エспの利用者数増、図書貸出者数増のため、評価を「○」とした。	●社会教育関係団体や自主サークル活動団体等と連携しながら、公民館の有効活用が図られることに期待したい。 ●公民館の利用者数減について、市民の学習ニーズが変わってきていることが要因であれば、これまでとは異なるサービスを提供したり、新たに若い市民の学習ニーズを掘り起こしたりするなどの工夫が求められる。
	①学習施設の充実 ②誰もが利用しやすい施設運営 ③教育相談体制の整備	生涯学習施設の満足度 80%以上 【塩竈市教育委員会調べ】	エсп：98.2% 図書館：56.5% (無回答除くと73.7%)	○	●ふれあいエсп塩竈運営事業は、幅広い世代の多様な学習のニーズに応えていこうとしている点は評価できる。市民の学びの深まりなど、質を評価する仕組みを検討されたい。 ●市民図書運営事業は、貸出資料数・蔵書資料数とも、県平均を上回るなど評価できる。ティーンズブックリーダーなど利用促進の取組も評価できる。今後も市民ニーズに対応した事業の充実に期待したい。

V.歴史の継承と文化の振興

◎・・・達成（100％）
○・・・おおむね達成（80％～99％）
△・・・達成が十分とは言い難い（～79％）
－・・・調査未実施

施策

目標値
(平成32年度)

達成状況
(平成30年度時点)

評価

学識経験者の意見

(1)歴史や文化の継承と活用

- ①歴史資料の収集・保存・調査研究・活用
- ②塩竈の歴史情報の公開とまちづくりの連動
- ③ホームページ上での魅力発信

地域文化の継承に対する満足度
80%以上
【市民満足度調査】

Webミュージアム「文化の港シオーモ」のHPアクセス数
対前年比10%アップ
【塩竈市教育委員会調べ】

－

80,265件
H29年比 Δ15.22%

－

△

●今後、資料や文化財の収集、保存・活用のあり方等、職員の専門的知識の向上を図り、管理展示物施設等の環境を整え、後世に引き継ぐ様々な取組を通して、市民の文化財に対する関心をさらに高めていく取組に期待したい。
●文化財の保護を進めつつ、情報を発信していることは評価できる。文化財の学術的・学問的な研究の充実を図り、その成果を公表しつつ施策を進めてほしい。

(2)文化・芸術活動の機会の充実と支援

- ①文化系術に親しむ機会の提供
- ②文化芸術活動とまちづくりの連動
- ③文化・芸術活動の情報提供・発信

文化活動の振興に対する満足度
80%以上
【市民満足度調査】

文化施設の年間利用者数
H28から10%アップ
【塩竈市教育委員会調べ】

文化施設の事業実施にかかる満足度
100%に近づける
【塩竈市教育委員会調べ】

－

遊ホール：47,892人
H28年度比 +4.80%
美術館：26,988人
H28年度比 +39.5%

遊ホール：96.4%
美術館：94.0%

－

◎

○

●遊ホール協会自主事業は、満足度が96%を超えていることは、企画・運営に対する積極的な取組によるところが大きい。今後、事業ごとの対象を明確にし、さらなる遊ホール施設の稼働率向上を目指した事業展開が期待される。
●遊ホールの稼働率が70%に達しておらず、その理由や背景を分析する必要がある。その上で行政でどのような支援が必要なのか検証してほしい。
●塩竈市杉村淳美術館運営事業では、創造的・先進的な取組を数多く実施していることは高く評価できる。現在の取組の成果を中長期的に検証していく仕組みを確立し、長期的な検証の裏付けとなる美術館の理念（ミッション）の明確化と、それを実現する着実な事業展開を期待したい。

Ⅵ.生涯スポーツの推進

◎・・・達成（100％）
○・・・おおむね達成（80％～99％）
△・・・達成が十分とはいえない（～79％）
－・・・調査未実施

施 策

目標値
(平成32年度)

達成状況
(平成30年度時点)

評価

学識経験者の意見

(1)スポーツ機会の
充実

- ①生涯スポーツの普及と推進
- ②まちに賑わいが創出される事業への取組

スポーツ振興に対する満足度
80%以上
【市民満足度調査】

－

－

●小学生や中学生が、高い技術経験を有する一流アスリートに触れる機会を多く設けていることは、望ましいことである。たくさんの素晴らしい団体が、市内の施設を利用して活動が行われていることを、さらに市民へ広く情報を発信していくことが望まれる。
●市民のスポーツ活動の実施状況や健康状態などについて指標を設け、適切な目標を定めて計画的に施策を実施すべきであると考えている。

(2)スポーツ環境の
整備

- ①各世代がいつでもスポーツを楽しめる環境整備
- ②様々な団体との連携による取組

スポーツ施設の年間利用者数
H28から10%アップ
【塩竈市教育委員会調べ】

体育館：125,786人
H28年度比 Δ10.40％
プール：40,415人
H28年度比 ＋8.90％
屋外施設等：147,568人
H28年度比 Δ6.93％

△

●各種スポーツ教室などの充実に努めていることは分かる。今後は、利用者のニーズを踏まえた新たな教室の展開や、質の高い各種教室の展開や拡充、スポーツ誘致を図る取組にも期待したい。
●市民のスポーツ活動の具体的な実施状況や健康状態などとの関連を把握し、その上で行政が提供するスポーツ環境が適正なのかどうかを検証してほしい。

塩竈市教育大綱 全体構成

1 策定の趣旨

- 本市の今後の教育・文化に関する総合的な施策について、その目標や方針を示す

2 大綱の位置づけ

- 本市の長期総合計画に示す教育分野の施策を踏まえて策定

3 大綱の期間

- ~~平成28年～31年度の4年間~~
平成28年～令和2年度
(平成31年度第一回総合教育会議にて延長)

第1章 目指すべき姿について

- 塩竈を担うひとづくりの視点から計画期間を通した「目指すべき姿」を定めます。

【目指すべき姿】

多くの先人を育んできた
ふるさと塩竈を愛し、
豊かな心と健やかな体を育みながら
未来に羽ばたく
塩竈っ子の育成を目指します。
そして、
子どもから大人まであらゆる世代が
多様な連携により交流する中で、
ともに学び、
ともに楽しみ、ともに輝く、
生涯学習を目指します。

第2章 基本方針について

- 3つの基本方針を定め、横断的かつ総合的な取組によって課題の解決を図ります。

塩竈独自の小中一貫教育の推進
ー「生きる力」を育む塩竈独自の小中一貫教育を推進するー

学校・家庭・地域の連携
ー学校・家庭・地域の連携を図りオール塩竈で子どもを育む教育を推進するー

塩竈ならではの人・歴史・文化・自然の活用
ー塩竈ならではの人・歴史・文化・自然の活用を図り、多様な連携による学校教育・生涯学習の環境を創出するー

設定にあたってのキーワード

- ▽ 世界に羽ばたく人材
- ▽ 本物に触れる感動
- ▽ 人にやさしくできる教育
- ▽ 塩竈の資源（人・歴史・文化等）
- ▽ 人を思いやる優しさと豊かな感性
- ▽ 多様な連携
- ▽ 塩竈を誇りに思う心の醸成
- ▽ 自ら学び自ら考える力
- ▽ 生きる力・豊かな心

第3章 施策体系について

- 長期総合計画の施策体系を基本とし、目指すべき姿と基本方針を踏まえ取り組んでいきます。

【子どもの夢を育むまちづくり】

施策1 生きる力を育む教育の充実

- 学力の向上
- 豊かな心を育む教育の充実
- 健やかな体の育成の推進
- 不登校・いじめ対策の充実
- 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実

施策2 学習環境の充実

- 学校施設の整備・充実
- 学習設備の充実

施策3 地域社会との連携強化

- 地域との協力体制の構築
- 学校情報提供の双方向性の確立

【豊かな心を培うまちづくり】

施策4 生涯学習の推進

- 学習機会の充実
- 学習活動の支援
- 生涯学習環境の整備

施策5 歴史の継承と文化の振興

- 歴史の継承
- 文化・芸術活動の機会の充実と支援

施策6 生涯スポーツの推進

- スポーツ機会の充実
- スポーツ環境の整備

塩竈独自の
小中一貫教育の推進

学校・家庭・地域の連携

塩竈ならではの人・
歴史・文化・自然の活用

横断的な
取組

塩竈市教育振興基本計画 全体構成

計画の基本事項

1 策定の趣旨

- 本市の今後の教育・文化に関する総合的な施策について、その目標や方針を示す。

2 計画の位置づけ

- 教育基本法に基づく計画
- 本市の長期総合計画に示す教育分野の施策を踏まえて策定
- 塩竈市教育大綱の方向性と整合を図る

3 計画の期間

- 平成 28～32 年度の 5 年間

第1章 教育の現状と課題

- 人口減少と少子高齢化
- 学校教育の課題について
 - ・学力について
 - ・不登校について
 - ・体力・運動能力について
 - ・特別支援教育について
- 生涯学習・スポーツの状況
 - ・生涯学習について
 - ・生涯スポーツについて

第2章 目指すべき姿について

- 塩竈を担うひとづくりの視点から計画期間を通した「目指すべき姿」を定めます。

【目指すべき姿】

多くの先人を育んできたふるさと塩竈を愛し、
豊かな心と健やかな体を育みながら
未来に羽ばたく塩竈っ子の育成を目指します。
そして、子どもから大人まであらゆる世代が
多様な連携により交流する中で、
ともに学び、ともに楽しみ、ともに輝く、
生涯学習を目指します。

第3章 基本方針

- 3つの基本方針を定め、横断的かつ総合的な取組によって課題の解決を図ります。

塩竈独自の小中一貫教育の推進
ー「生きる力」を育む塩竈独自の
小中一貫教育を推進するー

学校・家庭・地域の連携
ー学校・家庭・地域の連携を図り
オール塩竈で子どもを育む教育を推進するー

塩竈ならではの人・歴史・文化・自然の活用
ー塩竈ならではの人・歴史・文化・自然の活用を
図り、多様な連携による学校教育・生涯学習の
環境を創出するー

第5章 推進体制

1 計画の進行管理

- PDCAサイクルによる計画の進行管理
 - ・点検評価の活用
 - ・総合教育会議との連携

2 計画の推進体制

- 関係部局との連携体制の構築
- 市民への計画周知と各種情報の収集・発信

第4章 施策体系

- 塩竈市教育大綱の施策体系を基本とし、目指すべき姿と基本方針を踏まえ取り組んでいきます。また、各施策に成果指標を掲げ取り組んでいきます。

【子どもの夢を育むまちづくり】

施策1 生きる力を育む教育の充実

- 学力の向上
- 豊かな心を育む教育の充実
- 健やかな体の育成の推進
- 不登校・いじめ対策の充実
- 一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の充実

施策2 学習環境の充実

- 学校施設の整備・充実
- 学習設備の充実

施策3 地域社会との連携強化

- 地域との協力体制の構築
- 学校情報提供の双方向性の確立

【豊かな心を培うまちづくり】

施策4 生涯学習の推進

- 学習機会の充実
- 学習活動の支援
- 生涯学習環境の整備

施策5 歴史の継承と文化の振興

- 歴史の継承
- 文化・芸術活動の機会の充実と支援

施策6 生涯スポーツの推進

- スポーツ機会の充実
- スポーツ環境の整備

塩竈独自の
小中一貫教育の推進

学校・家庭・地域の連携

塩竈ならではの人・
歴史・文化・自然の活用

横断的な
取組